

まえがき

本書は、NHK ラジオ中国語講座応用編（2004年4月－6月）で放送されたものを加筆修正し、まとめたものです。

応用編と言っても、実際には初級に出てくる基本的な文型や表現を多く取り入れました。その意味で本書は、初級で勉強したものの、習ったことが定着していなくて、もう一度きちんと体系的におさらいしたいと思っているような学習者をも対象にしています。つまり、中国語をまったく習ったことのない初級者にとっては中国語の基本を学ぶよい機会となり、中級者にとっては、これまでの復習と同時に中級レベルの文型や表現をも身につけられるチャンスでもあります。

語学の勉強に近道はないと私は常々考えております。単語を覚え、基本文法を身につけて、こつこつと練習を重ねていくしかありません。さらに、この基本文法がしっかり身に付いているかどうか、その後の上達を左右するといっても過言ではありません。基本がしっかりできてさえいれば、あとは応用力を付けるだけです。本書は基本文型を重視しながら、応用的なものをもカバーしているので、本書に取り上げられている文型や表現を習得した時点で、あなたの中国語の実力はすでに初級から脱却し、立派な中級者になっているはずです。

本書の出版に際し、講座の放送直後に企画を持ちかけ、刊行まで辛抱強く待ち続けていただいた金星堂の中田信義様にまず感謝申し上げます。また本書の具体的な編集作業をし、いろいろなアドバイスをしてくださった編集の佐藤貴子さんにも大変お世話になりました。さらに校正の作業を手伝ってくださった河野直江さんにも感謝の意を表します。

2007年春
著者

本書の構成と使い方

● 本書の構成

本書は26課から構成され、基礎編、発展編、実力編、応用編と四つのパートに分けられています。各課はポイント、スキット、スキットの訳、練習問題、それから練習問題の解説からなっています。ポイントに関して言えば、本書は基本的な文法書としての性格も兼ね備えており、初・中級の文法書として使っていただけるものと思います。一課に三つの文型があり、全体の課で80ぐらいの文型があるため、初・中級の学習者の学習する主な文法事項を一通り網羅しているものと言えましょう。それだけでなく、それぞれの文型では詳しい説明や使い方も紹介しているので、文法の参考書としてもお使いいただければ幸いです。

● 本書の使い方

A. ポイントの語句：

勉強の仕方としては、まずポイントの語句から始め、語句の中に習ったことのないものがあるかどうかをチェックしてください。語句の日本語訳も書いてありますが、これはあくまでもポイントで取り上げた文型に出てくる意味に合ったものであり、語句によっては複数の意味を持つ単語もあるので、できれば自分で辞書を調べて確実に意味を把握するようにしてからポイントの勉強に入ってください。

B. ポイント：

ポイントで学ぶ文型は、文を作るためのもっとも基本的な要素なので、それぞれのパターンを十分に理解し覚えるようにすると、自ら文を作る時に非常に役に立つものと思います。先にも述べましたが、ポイントに取り上げた文型にはそれぞれの意味や用法などが詳しく付けられているので、それらをうまく整理すれば、文法の参考書としてもお使いいただけます。

C. スキットの語句：

スキットの語句はスキットを理解するのに欠かせないので、これもポイントの語句と同じように辞書でチェックしてください。スキットの意味の理解をより正確にしてくれるのみならず、語彙の持つ意味の広がりも理解でき、表現する力がいっそう豊かなものになるに違いありません。

D. スキット：

スキットは文型に基づいて作られている自然な会話ですので、余裕があればぜひ丸ごと暗記できるようにしてください。スキットを覚える余裕がない方でも、文型を使って作られている部分だけでもぜひ丸ごと暗記することをお勧めします。なぜなら、文法だけに頼って文を作ると、文法的には間違っていないのかもしれませんが、表現として不自然な文を作ってしまう可能性があるからです。従って、丸暗記し、状況に合わせて使

い方に注意すれば、いつでも自然な中国語で表現できるようになります。

E. トライしよう：

練習の「トライしよう」では三種類の異なった練習を行うことができます。外国語の勉強は、ただ読んで理解しただけでは決して上達しません。練習問題をすることによって、ポイントで習った文法事項をより確実にし、自分のものとして定着していけます。ぜひチャレンジしてみてください。

練習（１）ではまずセンテンス全体に目を通し、それから与えられている語句の意味を考えながら（ ）の中に合った語句を入れるようにしてください。練習（２）は語順の問題です。ポイントで習った文型を踏まえたうえで、正しい語順で並べることをお勧めします。練習（３）の日文中訳は自ら中国語表現を作っていく作業です。用いる語句と並べる順序を自分で考えなくてはならないので難しいのですが、それをやることによって、確実にあなたの表現力は豊かになります。ぜひチャレンジしてみてください。

F. 解説：

解説は、分かりやすいことをモットーとしてあるので、正解にたどり着くヒントを与えてくれますが、できれば練習をやる前ではなく、練習を終わった後の確認としてお読みください。

挨拶の違い

人に会うときには挨拶を交わすものです。日本人も中国人も人に会ったら挨拶をします。しかし、どのような挨拶をするのかは必ずしも同じではありません。日本語の場合、朝は「おはようございます」、昼間は「こんにちは」、夜は「今晚は」と判で押したように挨拶します。たとえ相手が毎日会っている人でも同じです。ですから、日本人ならそれぞれの挨拶に対応する中国語が“你早” (nǐ zǎo)、“你好” (nǐ hǎo)、“晚上好” (wǎnshang hǎo) と習えば、日本語と同じ感覚で使うのも無理はありません。

しかし、中国人同士ではこのような挨拶は初対面の場合には使いますが、毎日会っている人にはまずこのような挨拶を交わすことはありません。実際、中国人の日常挨拶はもっとフレキシブルにやるものです。例えば、朝出勤に行くのを見ると“上班去啊” (shàng bān qù a) (会社へ行くのですか) と言ひ、会社からの帰りなら、“下班啦” (xià bān la) (会社帰りですか) や“回来啦” (huílai la) (お帰り) のように言ったりします。また買い物のときに出くわした際の“买东西啊?” (mǎi dōngxi a) (お買い物ですか) というのも挨拶になります。

さらに、食事をするときについては、“我先吃啦” (wǒ xiān chī la) (先に食べますよ) と言ったり、何も言わずに食べだしてもかまいません。食事のあとと同じで、そのときの状況に応じて“我吃完了” (wǒ chī wán le) (食べ終わりました) や“我吃饱了” (wǒ chībǎo le) (お腹いっぱい食べました)、あるいは“太好吃了” (tài hǎo chī le) (本当においしかった) というような挨拶もよく聞かれます。

要するに中国語では日本語のような決まりきった挨拶ではなく、臨機応変にその場の状況に合わせて挨拶することが大事なのです。

「この間はどうも」、日本人同士がよく交わす挨拶です。これは実際に相手に対して感謝しているのか、謝っているのか、当事者同士しか分からない通訳泣かせの表現です。

学生のころ通訳を頼まれて、日本人がいきなり中国人にこう切り出したときにどう訳せばよいか分からず、いちいちそれまでにどんな経緯があったかを確かめてから“上次非常感谢” (shàngcì fēicháng gǎnxiè) (この間はどうもありがとうございました) とか“上次非常抱歉” (shàngcì fēicháng bàoqiàn) (この間はすみませんでした) のように訳したものです。このやり取りに時間がかかったものですから、こんな簡単な挨拶も訳せなくて大丈夫だろうかと心配されたものです。

そもそも中国人がお互いに会うときには、前の日や数日前に（ましてや何ヶ月前に）ご馳走になったとか、お世話になったことなどをわざわざ取り上げて挨拶するような習慣はありません。問題なのは、日本に来ている中国人が日本人からご馳走になったり、あるいはお世話になったりした翌日もしくは数日後に再びその人に会った際、まったくそのようなことがなかったかのような感じで接していて、なんて失礼な人だと日本人に誤解されてしまう可能性があるということです。

これはもはや言葉の問題よりも習慣や文化の違いです。日本に来たばかりの中国人はこのような日本の挨拶習慣に戸惑ってしまいます。その意味で、外国語の勉強とは単なる言葉だけの勉強ではなく、その国の文化や習慣などを含めて理解しないと、本当の意味で外国語をマスターしたとは言えないのではないのでしょうか。

食事の際「ビールはいかがですか？」と勧められたら、どのように断ればよいのでしょうか。日本語では「結構です。」あるいは「いいです。」というのが普通なのですが、これをそのまま中国語に訳すと“可以”(kěyì) や“好”(hǎo) といった表現になります。しかしそれは「はい、いいよ」という意味として理解され、ビールを入れられてしまうことになります。こういうときは中国語では普通“我不喝”(wǒ bù hē) (飲みません) とか“不要”(bú yào) (いりません) と言って断ります。ただ、そのあと“谢谢”(xièxiè) を添えることも忘れずに。

また食事が終わって一緒に店を出るとき、日本語では「行きましょうか」と言いますが、これを中国語に直訳すると、“去吧”になります。しかし、中国語では一般に“走吧”(zǒu ba) と言います。“去吧”は目的地があってそこへ行くときに使われますが、その場を後にする場合、“去吧”(qù ba) ではなく、“走吧”と言わなければなりません。

もう一例を挙げましょう。人の家に招待され、帰り際に言う挨拶として、日本語ではよく「(時間が) もう遅いですから、そろそろ失礼します」と言いますが、この表現をそのまま直訳して“时间已经晚了，我走了”(shíjiān yǐjīng wǎn le, wǒ zǒu le) のような中国語に訳してしまうと、また不自然な表現になってしまいます。この場合、中国語では“时间已经不早了，我该走了”(shíjiān yǐjīng bù zǎo le, wǒ gāi zǒu le) のように言います。つまり、日本語の「遅い」を否定の形式で“不早了”(もう早くない) と言ってはじめて自然な中国語となるのです。

中国語の勉強において、初・中級者がよくこのような間違いを起こします。このような間違いを起こさないために大事なものは、日本語の直訳から脱却し、場面に合わせた中国語を覚えて使うことです。言葉を如何に場面に合った適切な言い回しで表せるかが、中・上級者になるための重要な条件なのです。この一冊をまもなく終えようとする皆さん、すでに基本を身につけたのですから、これからは場面に合わせた表現をどんどん覚えて、更なる飛躍を目指しましょう。

■ 著者紹介 ■

楊凱榮 (よう・がいえい)

1957 年生まれ。華東師範大学卒業。大阪外国語大学大学院修士課程修了。筑波大学大学院博士課程修了。現在、東京大学大学院総合文化研究科助教授。文学博士。NHK ラジオ講座応用編講師担当 (2002 ~ 2005 年「表現する中国語」, 「すぐに使える基本文法」、2006 年 7 ~ 9 月「重要語句で探る言葉のメカニズム」)。共著『中国語教室 Q&A』(大修館書店) ほか。

もっとのばせる中国語 ~基礎から応用まで~

2007 年 3 月 30 日 初版発行

著者 楊凱榮

発行者 福岡靖雄

発行所 株式会社 **金星堂**

〒101 - 0051

東京都千代田区神田神保町 3 - 21

Tel:03-3263-3828 (営業部) 03-3263-3950 (出版部)

Fax:03-3263-0716

E-mail:text@kinsei-do.co.jp

URL:http://www.kinsei-do.co.jp

編集担当 佐藤貴子

表紙装丁 カシワギマリ

本文デザイン・イラスト エム・エイ・テック

印刷所 大日本印刷 / 製本所 関山製本

乱丁・落丁本はお取り替え致します。

©Kairong Yang,2007,Printed in Japan 2-00-0671

ISBN978-4-7647-0671-2 C1087

Contents



●基礎編●

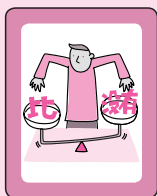
1. 存在、所有、所在を表す構文 10
 1. 場所／時間＋“有”＋人／事物
 2. 人＋“有”＋人／事物
 3. 人／事物＋“在”＋場所
2. 名詞述語文 16
 1. 主語＋時間表現
 2. 主語＋数量表現
 3. 主語＋名詞
3. 形容詞述語文 22
 1. 主語＋形容詞
 2. 主語＋副詞＋形容詞
 3. “太”＋形容詞＋“了”
4. 完了を表す“了”と新事態の発生を表す“了”... 28
 1. 動詞＋“了”＋数量詞＋目的語
 2. 動詞＋“了”＋目的語～
 3. 動詞＋“了”＋連体修飾語＋目的語
 4. 形容詞／数量詞／名詞＋“了”
5. 助動詞の“会”、“能”、“可以” 34
 1. “会”＋動詞
 2. “能”＋動詞
 3. “可以”＋動詞



●発展編●

6. 程度を表す“有点儿”と“一点儿” 42
 1. “有点儿”＋形容詞／動詞
 2. 形容詞／動詞＋“一点儿”
 3. “一点儿”＋“都／也”
7. 前置詞の“离”、“跟”、“从” 48
 1. “离”＋名詞＋形容詞／動詞

	2. “跟” + 名詞 + 動詞	
	3. “从” + 名詞 + 動詞	
8.	“给”、“为”、“帮”	54
	1. X + “给” + Y + 動詞	
	2. X + “为” + Y + 動詞	
	3. X + “帮” + Y + 動詞	
9.	時間量と回数を表す構文	60
	1. 動詞 + 時間量 / 回数 + 目的語	
	2. 動詞 + “了” + 時間量 / 回数 + “了”	
	3. 時間量 / 回数 + 動詞 + 時間量 / 回数	
10.	進行と持続を表す“在”と“着”	66
	1. “在” + 動詞	
	2. 動詞 + “着”	
11.	存現文	72
	1. 自然現象の発生を表す構文 〔時間や場所表現 + 動詞 + 目的語〕	
	2. 人や事物の出現、存在、消失を表す構文 〔時間や場所表現 + 動詞 + (数量表現 + 目的語)〕	
	① 主体の出現	
	② 主体の存在	
	③ 主体の消失	



● 実力編 ●

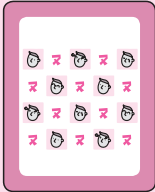
12.	比較構文	80
	1. X + “比” + Y + 形容詞 (～)	
	2. X + “没有” + Y + (那么) ～	
	3. “和” + X + “相比” + Y ～	
13.	“把”構文	86
	1. “把” + 名詞 + 動詞 + “在” ～	
	2. “把” + 名詞 + 動詞 ～	
	3. “把” + 名詞 + 動詞 + “一下”	

14. 結果補語の“到”、“给”、“在”	92
1. 動詞＋“到”	
2. 動詞＋“给”	
3. 動詞＋“在”	
15. 結果補語の“完”、“掉”、“错”	98
1. 動詞＋“完”	
2. 動詞＋“掉”	
3. 動詞＋“错”	
16. 方向補語	104
1. 動詞＋“进来／进去”	
2. 動詞＋“出来／出去”	
3. 動詞＋“下来／下去”	
17. 程度補語と様態補語	110
1. 形容詞＋“死了／极了”	
2. 動詞＋“得”＋形容詞	
3. 形容詞＋“得”＋（人）＋“直”＋動詞	
18. 可能補語	116
1. 動詞＋“得／不”＋“到”	
2. 動詞＋“得／不”＋方向補語	
3. 動詞＋“得／不”＋結果補語	
19. 強調と説明の構文	122
1. X＋“就是～”	
2. “是～的”構文	
3. “是～的”構文の省略と否定	
20. 離合詞	128
1. 動詞＋目的語	
2. 動詞＋数量詞＋目的語	
3. 動詞＋～＋目的語	
21. 使役構文	134
1. X＋“请”＋Y＋動詞	

2. X + “叫／让” + Y + 動詞
3. X + “叫／让” + Y + “别／不要” + 動詞

22. 受身構文 140

1. X + “被／叫／让” + Y + 動詞 + ～
2. X + “给” + Y + 動詞 + ～
3. X + “被／给” + 動詞 + ～



● 応用編 ●

23. “又～又～”、“既～又～”、“一边～一边～” 148

1. “又～又～”
2. “既～又～”
3. “一边～一边～”

24. “连～也／都”、“肯定(是)～” 154

1. “连～也／都” ①
2. “连～也／都” ②
3. “肯定(是)～”

25. “就是～”、“不是A就是B”、“只是～” 160

1. “就是～”
2. “不是A就是B”
3. “只是～”

26. “～就”、“才～就～”、“就～” 166

1. “～就”
2. “才～就～”
3. “就～”



基礎編



第1課:存在、所有、所在を表す構文 / 第2課:名詞述語文 / 第3課:形容詞述語文 / 第4課:完了を表す“了”と新事態の発生を表す“了” / 第5課:助動詞の“会”、“能”、“可以”

第1課 存在、所有、所在を表す構文

CD2

ポイント

1. 場所／時間＋“有”＋人／事物

この構文は人や事物の存在を表し、場所や時間を表すことばが“有”の前に置かれ、存在する人や事物が“有”の後に置かれる。否定は“没有”を用いる。

1) 我们大学有很多外国留学生。

Wǒmen dàxué yǒu hěnduō wàiguó liúxuéshēng.
私たちの大学には多くの外国人留学生がいる。

2) 车站附近有一个邮局。

Chēzhàn fùjìn yǒu yí ge yóujú.
駅の近くには郵便局がある。

3) 三楼没有儿童服装。

Sān lóu méiyǒu értóng fúzhuāng.
3階には子供服はない。

2. 人＋“有”＋人／事物

この構文は人が何かを所有する意味を表し、所有者が“有”の前に置かれ、所有されるものが“有”の後に置かれる。否定は“没有”を用いる。

1) 我有很多外国的纪念邮票。

Wǒ yǒu hěnduō wàiguó de jìniàn yóupiào.
私は外国の記念切手をたくさん持っている。

2) 你有我的伊妹儿地址吗？

Nǐ yǒu wǒ de yīmèir dìzhǐ ma?
私のEメールアドレスを知っていますか。

3) 我没有他的电话号码。

Wǒ méiyǒu tā de diànhuà hàomǎ.
私は彼の電話番号を知らない。



3. 人／事物＋“在”＋場所

この構文は人や事物の所在を表し、所在の主体は“在”の前に置かれ、所在の場所は“在”の後に置かれる。否定は過去も未来も“不在”を用いることが可能である。

1) “小李在哪儿？”“小李在楼下。”

Xiǎo-Li zài nǎr? Xiǎo-Li zài lóuxià.

「李さんはどこですか。」「李さんは下の階にいます。」

2) 你的行李在客厅里呢。

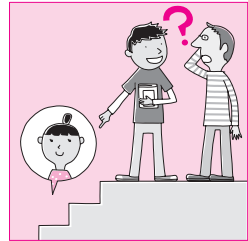
Nǐ de xíngli zài kètīng li ne.

あなたの荷物は客間にありますよ。

3) 她十年前不在日本。

Tā shí nián qián bù zài Riběn.

彼女は10年前日本にいなかった。



○ ポイントの語句

CD3

外国留学生	wàiguó liúxuéshēng	外国人留学生
车站	chēzhàn	駅、停留所
附近	fùjìn	付近、近く
邮局	yóujú	郵便局
儿童	értóng	子供、児童
服装	fúzhuāng	服装
纪念邮票	jìniàn yóupiào	記念切手
伊妹儿	yīmèir	Eメール
地址	dìzhǐ	住所、アドレス
行李	xíngli	荷物
客厅	kètīng	客間、応接間

兰兰，你有零钱吗？

男：兰兰，你有零钱吗？

Nán : Lánlan, nǐ yǒu língqián ma?

女：有啊。要多少？

Nǚ : Yǒu a. Yào duōshǎo?

男：六块。

Liù kuài.

女：我手上有面粉，你自己拿吧。

Wǒ shǒushang yǒu miànfěn, nǐ zìjǐ ná ba.

男：你的钱包在哪儿？

Nǐ de qiánbāo zài nǎr?

女：在电视机上。

Zài diànshìjī shang.

○ スキットの語句

零钱

面粉

拿

钱包

电视机

língqián

miànfěn

ná

qiánbāo

diànshìjī

小钱

小麦粉

持つ、取る

財布

テレビ

スキットの訳

男：蘭蘭、小銭ある？

女：あるわよ。いくらいるの？

男：6元。

女：手に粉がついているから、自分で取って。

男：財布はどこ？

女：テレビの上よ。



● トライしよう!

1. 与えられた語句を()の中に入れてみよう。

(1) 桌子上 () 一本中日词典。

(2) 商场的二楼 () 一个咖啡厅。

(3) 报纸 () 沙发上。

- | |
|------|
| a. 有 |
| b. 在 |

2. 次の語句を日本語の意味に合うように、正しい語順に並べよう。

(1) 壁には山水画が一枚掛かっている。

A. 山水画 shānshuǐhuà

B. 有 yǒu

C. 一幅 yī fú

D. 墙上 qiángshàng

(2) (あなたは) 携帯電話を持っていますか。

A. 你 nǐ

B. 吗 ma

C. 手机 shǒujī

D. 有 yǒu

(3) 黄さんは今国外にいます。

A. 小黄 Xiǎo-Huáng

B. 国外 guówài

C. 现在 xiànzài

D. 在 zài

3. 中国語に訳してみよう。

(1) 駅の近くに銀行がある。

(2) 王さんは今大阪にいません。

(3) 私は今まだパソコンを持っていません。

● 解説

1 (1)、(2) は文頭に場所表現が来ているので、存在構文であることが分かりますね。

(3) の最初の語句は“报纸”であり、所在の表現になります。

2 (1) の日本語を読めば、存在構文であることが分かります。存在構文は「場所＋“有”＋存在するもの」の語順で並べればいいわけです。

(2) は所有の意味ですね。所有の場合は「人＋“有”＋所有物」の順番に従って並べましょう。

(3) は所在の意味ですね。所在の語順は「所在の主体＋“在”＋場所」になっています。ただ、ここで注意してほしいのは時間を表す語句“現在”があることです。時間詞については一般に主語の後に置くのが普通です。もちろん、時間詞を問題にする場合、主語の前に置くことも可能です。

3 (1) は存在構文なので、「場所＋“有”＋存在するもの」の語順です。あとは単語さえ分かればできますね。

(2) は所在構文であり、所在構文の語順は「所在の主体＋“在”＋場所」になります。

(3) は所有構文として作文すればいいのです。日本語では物の場合、例えば「私は車を持っている」と言えますが、人間の場合「私にはボーイフレンドがいる」とは言っても、「私はボーイフレンドを持っている」とはあまり言わないようですね。しかし、中国語では物も人間も同じ扱いで、所有構文が使えます。

-
- 1 (1) a (2) a (3) b
 2 (1) DBCA (2) ADCB (3) ACDB
 3 (1) 车站附近有一个银行。
 (2) 小王现在不在大阪。
 (3) 我现在还没有电脑。